

(8) **アキノワスレグサ** 本植物は外見上ベニクワンザウ *Hemerocallis longituba* Miq. に似てゐるが、彼に比し、葉は多には短小となるも明かに常緑であり、根は黄色で黄褐色でなく、匍枝による繁殖は頗る旺盛であるから容易に區別出来る。花期が晩く 9—10 月に咲くから和名をアキノワスレグサとし、葉が常緑であるから學名を *Hemerocallis sempervirens* Araki と命名した。往々觀賞のために栽培してゐるが天生地は未だ明かでない。

(9) **ヒロベナムサシノワスレグサ** ムサシノワスレグサに比し、花蓋裂片の幅が頗る廣く、どこことなく園藝品的風姿を具へて非常に美しいものを新變種ヒロベナムサシノワスレグサ *Hemerocallis exilis* Satake var. *latiloba* Araki と命名した。

(10) **ヤナギタデの變品** 始めに栽培品に就いて述べる。先づヤナギタデ(飯沼) *Persicaria Hydropiper* Spach var. *vulgaris* Ohki 及び其の一品ムラサキヤナギタデ(新稱) forma *purpurascens* Nemoto に比し葉の幅廣く、ナガバアヲタデ(新稱) var. *laetevirens* Nemoto に比し葉はより小形で先が長く鋭く尖るものをムラサキタデ(飯沼) var. *latifolia* Araki とした。此の中、葉に皺縮の觀が全くないものをスラリムラサキタデ(新稱) lusus *erugulosa* Araki と呼ぶ。又飯沼惣齊著「草木圖説」卷 7 第 55 圖版の丙は本變種の綠葉、白花品であるからミドリタデ(新稱) forma *nonpurpurea* Araki とした。次にトウタデ(貝原) var. *viridi-purpurea* Nemoto を栽培してゐると莖葉共に綠色、花白色のものが出て来る。之をマルバアヲタデ(新稱)、アヲタデ(飯沼の一部) forma *chloris* Araki とした。前著第 55 圖版の甲は本品である。次にアザブタデ(飯沼) var. *fastigiata* (Makino) Araki と其の一品イトタデ(飯沼) forma *angustissima* (Makino) Araki 及びサツマタデ(飯沼)、ホソバタデ(飯沼の一部) var. *Maximowiczii* Nemoto の一品アヲホソバタデ(牧野) forma *viridis* (Makino) Araki を夫々 *Persicaria* へ移した。

最後に琉球、沖縄島、國頭郡佐手に天生し、小泉源一博士が 1923 年 5 月 21—23 日に採集されたものはヤナギタデに比し、全體も葉も小さく花穂が頗る疎花で寧ろアザブタデに似ている。之をナガボヤナギタデ(新稱) var. *filiformis* Araki とした。

○新 刊

北村 四郎：有用植物學 262 pp. 朝倉書店 ㊦ 380.

伊藤 洋：高等植物分類表 89 pp. 北隆館 ㊦ 130.

大井次三郎・小山鐵夫：スゲ類植物圖譜 (1) 20 t. 國立科學博物館集報第 5 號